

創立150周年記念式典（高千帆小学校）

明治6年2月に掃山小学校として創立した高千帆小学校が150周年を迎え、記念式典が厳粛に行われました。校長先生が「地域とのつながりを大切にし、地域の誇りとなる学校をめざしていく」とあいさつされた後、プロジェクトチームの6年生が、学校運営協議会委員の皆さんから教えていただいた当時の遊びや運動会、たかちほの鐘のことなどを「150年のあゆみ」として発表しました。最後の校歌斉唱では、5・6年生の美しい歌声が響きました。高千帆小が地域の皆さんに支えられていることを強く感じた式典でした。



埴生ふれあい文化祭（埴生幼稚園、埴生小中学校）

中学生は、例年通り実行委員として企画と運営に関わり、今回は新たにPTAと射的や輪投げコーナーも担当しました。また、小学生は、ハーブねっと農園で収穫したもち米を大きな声で来場者に呼びかけて販売しました。幼稚園児は、全員で元気いっぱい歌や遊戯をステージ発表し、大きな声援を受けていました。このように、埴生地域交流センターの文化祭では、子どもたちが参加・参画することが定着しつつあり、地域の方々との一体感が生まれて大いに盛り上がり、学校・園が地域づくりに寄与しています。



中学3年生の面接練習（高千帆中学校）

地域教育協議会の徳の部会の取組で、中学3年生の面接練習が行われました。講師は地域ボランティアの方で、2人1組になって生徒に「得意な教科、苦手な教科は何ですか」「中学校生活で心に残ったことは何ですか」などを質問し、その後、「顔を見てゆっくりはっきりと答えるといいよ」などと助言しておられました。面接中動きがぎごちなかった生徒も、教室から出てきたときにはふうーっと体から力が抜け、緊張感から解放されていました。3年生が喜びの春を迎えられるよう、地域の方々も応援しています。

